



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 高砂香料工業株式会社

コード番号 4914

URL <https://www.takasago.com/>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）榎村 聡

問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部長

（氏名）平田 裕康 （TEL）03-5744-0523

半期報告書提出予定日 2025年11月13日

配当支払開始予定日 2025年12月17日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	114,467	0.8	6,209	△22.4	6,730	△2.4	5,396	10.2
2025年3月期中間期	113,585	15.2	8,004	422.3	6,895	107.2	4,898	129.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,230百万円（△74.5%） 2025年3月期中間期 12,680百万円（26.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	55.37	—
2025年3月期中間期	50.30	—

（注）当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	255,635	146,305	56.4
2025年3月期	262,174	146,394	55.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 144,065百万円 2025年3月期 144,203百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	80.00	—	160.00	240.00
2026年3月期	—	120.00			
2026年3月期（予想）			—	28.00	—

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

（注2）2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合をもって分割しております。上記2026年3月期第2四半期末は分割前、2026年3月期（予想）期末は分割後の金額を記載しております。年間の配当予想については、当該株式分割の実施により単純合計ができないため、表示しておりません。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当金は260円です。

詳細につきましては、本日（2025年11月13日）公表の「剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	0.3	12,500	△18.5	13,000	△15.1	11,700	△12.2	120.10

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2026年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式分割の影響を考慮しております。なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、600.48円となります。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) 高砂香料(張家港)有限公司、除外 1社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	100,761,985株	2025年3月期	100,761,985株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	3,265,840株	2025年3月期	3,309,830株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	97,464,432株	2025年3月期中間期	97,393,472株

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社では、2025年11月26日(水)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を会場とライブ配信のハイブリッド方式にて開催を予定しております。この説明会で配布する決算説明資料については、同日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、一部に弱めの動きもみられるものの、緩やかに回復しました。

海外経済につきましては、各国の通商政策等の影響を受けて一部に弱めの動きもみられるものの、総じて緩やかに成長しました。今後のわが国経済の見通しにつきましては、長期化するウクライナ侵攻や中東情勢等の地政学リスク、中国における景気低迷、米国の通商政策や海外の経済・物価動向等を背景として不確実性は高い状況が続いており、為替市場や経済・物価への影響について十分注視する必要があります。

香料業界においては、世界経済の成長に合わせる形で、全体として堅調に推移しました。競合他社との競争環境は厳しい状況が続いておりますが、市場としては、中国や東南アジアでの成長が引き続き期待できる一方、成熟市場である欧米でも底堅い成長が見込まれます。

このような中、当社グループは「人にやさしく、環境にやさしく」をスローガンとする『Vision 2040』のもと、中期経営計画『New Global Plan-2【NGP-2】』（2024-2026年度）を推進してまいりました。

当中間連結会計期間の売上高は、114,467百万円（前中間連結会計期間比0.8%増）、営業利益は6,209百万円（前中間連結会計期間比22.4%減）、経常利益は6,730百万円（前中間連結会計期間比2.4%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は5,396百万円（前中間連結会計期間比10.2%増）となりました。

部門別では、フレーバー部門は、日本・東南アジアにおいて飲料向け香料が好調に推移し、売上高は63,394百万円（前中間連結会計期間比4.5%増）、営業利益は4,250百万円（前中間連結会計期間比41.7%増）となりました。フレグランス部門は、東南アジアにおいてファブリックケア商品向け香料等が好調に推移した一方、米国においてエアケア商品向け香料が低調に推移し、売上高は36,295百万円（前中間連結会計期間比0.4%減）、営業利益は603百万円（前中間連結会計期間比2.2%減）となりました。アロマイングリディエント部門は、スペシャリティ品が堅調に推移し、売上高は8,154百万円（前中間連結会計期間比1.5%増）、営業利益は1,372百万円（前中間連結会計期間比0.8%減）となりました。ファインケミカル部門は、医薬品中間体ビジネスにおいて、主要得意先との間で品質管理体制の強化に向けた対応を行っており、一部製品の出荷を延期しております。これにより、売上高は5,918百万円（前中間連結会計期間比23.6%減）、営業損失は602百万円（前中間連結会計期間は営業利益2,392百万円）となりました。その他不動産部門は、売上高は703百万円（前中間連結会計期間比0.4%減）、営業利益は586百万円（前中間連結会計期間比4.1%減）となりました。

セグメントにつきましては、日本は、フレーバー部門が堅調に推移したものの、ファインケミカル部門が低調に推移し、売上高は40,210百万円（前中間連結会計期間比8.2%増）、営業利益は850百万円（前中間連結会計期間比78.6%減）となりました。米州は、米国子会社が低調に推移し、売上高は28,929百万円（前中間連結会計期間比13.8%減）、営業利益は1,092百万円（前中間連結会計期間比41.8%減）となりました。欧州は、フレーバー部門が堅調に推移し、売上高は20,451百万円（前中間連結会計期間比4.2%増）となったものの、販管費が増加し、営業利益は988百万円（前中間連結会計期間比21.8%減）となりました。アジアは、シンガポール子会社が好調に推移し、売上高は24,876百万円（前中間連結会計期間比7.0%増）、営業利益は3,224百万円（前中間連結会計期間比71.1%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末と比較して6,538百万円減少し、255,635百万円となりました。主なものは、現金及び預金の減少22,250百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して6,449百万円減少し、109,329百万円となりました。主なものは、短期借入金の減少10,412百万円、長期借入金の増加3,036百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して88百万円減少し、146,305百万円となりました。主なものは、為替換算調整勘定の減少3,449百万円、利益剰余金の増加2,277百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,590	13,340
受取手形及び売掛金	50,384	54,312
電子記録債権	2,442	3,312
商品及び製品	31,700	31,193
仕掛品	164	310
原材料及び貯蔵品	29,328	31,259
その他	5,607	5,182
貸倒引当金	△201	△209
流動資産合計	155,016	138,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,246	35,889
その他（純額）	37,835	43,617
有形固定資産合計	71,081	79,506
無形固定資産	4,922	5,403
投資その他の資産		
投資有価証券	23,204	24,336
その他	8,428	8,178
貸倒引当金	△479	△491
投資その他の資産合計	31,152	32,023
固定資産合計	107,157	116,932
資産合計	262,174	255,635

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,884	21,834
短期借入金	31,978	21,566
1年内返済予定の長期借入金	6,535	6,771
未払法人税等	2,875	1,714
賞与引当金	2,269	2,430
役員賞与引当金	61	33
その他	14,770	16,137
流動負債合計	80,375	70,487
固定負債		
長期借入金	19,554	22,591
役員退職慰労引当金	18	5
訴訟損失引当金	470	616
退職給付に係る負債	9,911	10,007
その他	5,449	5,622
固定負債合計	35,404	38,842
負債合計	115,779	109,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,248	9,248
資本剰余金	8,412	8,455
利益剰余金	101,014	103,292
自己株式	△1,614	△1,594
株主資本合計	117,061	119,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,125	11,080
繰延ヘッジ損益	△4	0
為替換算調整勘定	16,261	12,812
退職給付に係る調整累計額	758	769
その他の包括利益累計額合計	27,141	24,663
非支配株主持分	2,191	2,240
純資産合計	146,394	146,305
負債純資産合計	262,174	255,635

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	113,585	114,467
売上原価	74,467	76,891
売上総利益	39,118	37,575
販売費及び一般管理費	31,113	31,365
営業利益	8,004	6,209
営業外収益		
受取利息	66	44
受取配当金	304	297
持分法による投資利益	168	176
為替差益	—	118
その他	230	245
営業外収益合計	769	882
営業外費用		
支払利息	361	356
為替差損	1,464	—
その他	52	4
営業外費用合計	1,878	361
経常利益	6,895	6,730
特別利益		
固定資産売却益	10	5
投資有価証券売却益	221	795
特別利益合計	232	801
特別損失		
固定資産処分損	29	16
投資有価証券評価損	1	—
訴訟損失引当金繰入額	134	128
特別損失合計	164	145
税金等調整前中間純利益	6,963	7,386
法人税、住民税及び事業税	1,939	1,575
法人税等調整額	△130	△39
法人税等合計	1,808	1,536
中間純利益	5,154	5,850
非支配株主に帰属する中間純利益	255	454
親会社株主に帰属する中間純利益	4,898	5,396

中間連結包括利益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	5,154	5,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111	954
繰延ヘッジ損益	△12	5
為替換算調整勘定	7,347	△3,330
退職給付に係る調整額	△2	10
持分法適用会社に対する持分相当額	304	△260
その他の包括利益合計	7,525	△2,620
中間包括利益	12,680	3,230
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	12,229	2,918
非支配株主に係る中間包括利益	450	312

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
香料事業 (注) 3	36,453	33,554	19,634	23,238	112,879	—	112,879
顧客との契約から生じる収益	36,453	33,554	19,634	23,238	112,879	—	112,879
その他の収益 (注) 4	706	—	—	—	706	—	706
外部顧客への売上高	37,159	33,554	19,634	23,238	113,585	—	113,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,418	291	2,161	194	16,066	△16,066	—
計	50,577	33,845	21,796	23,432	129,652	△16,066	113,585
セグメント利益	3,984	1,878	1,263	1,884	9,010	△1,006	8,004

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,006百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額267百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△1,064百万円、その他△209百万円であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 香料事業はフレーバー、フレグランス、アロマイングリディエント、ファインケミカルの製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

4. その他の収益は、その他不動産事業に係る賃貸収入等で構成されております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
香料事業 (注) 3	39,506	28,929	20,451	24,876	113,763	—	113,763
顧客との契約から生じる収益	39,506	28,929	20,451	24,876	113,763	—	113,763
その他の収益 (注) 4	703	—	—	—	703	—	703
外部顧客への売上高	40,210	28,929	20,451	24,876	114,467	—	114,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,139	491	1,785	295	9,711	△9,711	—
計	47,349	29,421	22,236	25,171	124,178	△9,711	114,467
セグメント利益	850	1,092	988	3,224	6,156	53	6,209

(注) 1. セグメント利益の調整額53百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額277百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△15百万円、その他△208百万円であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 香料事業はフレーバー、フレグランス、アロマイングリディエント、ファインケミカルの製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

4. その他の収益は、その他不動産事業に係る賃貸収入等で構成されております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2025年4月28日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更について決議し、2025年10月1日付でその効力が発生しております。

1. 株式分割の目的

株式分割を実施し、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることで、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整備し、投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2025年9月30日(火曜日)最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、5株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	20,152,397株
今回の分割により増加する株式数	80,609,588株
株式分割後の発行済株式総数	100,761,985株
株式分割後の発行可能株式総数	300,000,000株

(3) 分割の日程

基準日公告日	2025年9月10日
基準日	2025年9月30日
効力発生日	2025年10月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。

3. 定款の一部変更

(1) 変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2025年10月1日をもって、当社の定款第6条の発行可能株式総数を変更いたしました。

(2) 定款変更の内容

(下線は変更部分を示します)

変更前	変更後
第2章 株式 第6条 当会社の発行可能株式総数は、<u>六千万株</u>とする。	第2章 株式 第6条 当会社の発行可能株式総数は、<u>三億株</u>とする。

(3) 定款変更の日程

効力発生日 2025年10月1日

4. その他

(1) 資本金の額について

今回の株式分割に際しまして、資本金の額に変更はありません。

(2) 配当について

今回の株式分割は、2025年10月1日を効力発生日としておりますので、配当基準日を2025年9月30日とする2026年3月期の中間配当金については、株式分割前の株式数を基準に実施いたします。